

平成18年度 第1回新南陽地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成18年 4月25日(金)
開会 9時30分
閉会 11時45分
- 2 開催場所 周南市新南陽総合支所 4階 41会議室
- 3 出席委員 (1)志賀 武男
(2)伊藤 禎亮
(3)林 保男
(4)築山 博
(5)菊地 光雄
(6)三坂 妙子
(7)浅海 道子
(8)福田 裕子
(9)山本 正之
(10)多田 道馨
(11)岸 義武
(12)田村美由紀
- 4 欠席委員 (1)藤本 嘉明
(2)藤井 道
(3)中山 哲男
- 5 出席職員 総合政策部長 山下敏彦
企画課長 住田英昭
企画課主査 原田義司
企画課担当 菅田浩司
企画課担当 青木和裕
新南陽総合支所長 近森 進
新南陽総合支所次長 堀常宗城
地域政策課主幹 片山九五
地域政策課課長補佐 岡田健一
- 6 会議次第 別紙のとおり
- 7 会議経過 別紙のとおり

平成18年度 第1回新南陽地区地域審議会

平成18年 4月25日(金)

10:00~

周南市新南陽総合支所 4階41会議室

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 総合政策部長あいさつ

4 総合支所長あいさつ

5 会長あいさつ

6 議 事

(1) 平成18年度当初予算の概要について

(2) 実施計画(H18~H20)について

(3) 意見具申8項目の状況について

(4) これからの進め方について

7 閉 会

【 会 議 経 過 】

1 開 会

2 市民憲章の唱和

3 総合政策部長あいさつ

4月21日で周南市が満3歳になる。最初の2年はまちづくりの助走期間として、体制づくり、総合計画の策定など、課題解決の準備期間と考え、次の一年は総合計画「ひと・輝きプラン 周南」のまちづくりが本格的に始まり、動き出す年、そして平成18年度はまちづくりの動きが徐々に見えてくる、具体化してくる年。また、4月21日には、市の新しいシンボルとして、市民憲章を制定した。まちづくりの実践活動として、市民一人ひとりがまちづくりに係わっていただく第一歩として広がっていくことを期待する。財政状況は、明るい兆しは見えてきているが、国の三位一体の影響により、依然として厳しい財政運営を強いられてきている。「ひと・輝きプラン 周南」に掲げられている内容を実行するためには、行政はもちろんのこと、まちづくりの主役、市民とのパートナーシップのもとで協働のまちづくりを進めていくことが重要。地域審議会は、それぞれの地域の問題や課題解決のための施策を、市政に反映する大切な組織。委員の皆さんは、よりよい地域づくりにご尽力いただくよう、お力添えをお願いしたい。

4 総合支所長あいさつ

5 会長あいさつ

地域審議会を昨年の2月2日に開催し、皆さんに5つのお願いをさせていただいた。

地域住民の意見を、それぞれの立場で集約していただきたい。

審議会の新しいテーマについて、深く掘り下げる必要がある。そのためには勉強会が必要であり、委員が一堂に会するには無理があるから、分科会で進めていくのも一つの案ではなかろうか。

予算に反映できる、意見具申のタイミングを念頭に入れて進めてほしい。

今年度も諮問がないから、意見具申を行ないたい。継続項目はウォッチングしていき、新たな項目は皆さんと審議していきたいので、2期の新たな委員の方には、新しい見方の意見を十分述べていただきたい。

自己紹介

資料の確認 式次第 市民憲章 H18当初予算の概要 実施計画
(H18～H20) 実施計画事業一覧表 新市建設計画(リーディングプロジェクト) 取り組み状況 H17意見具申関係の対応

議 事

- (1) 平成 1 8 年度当初予算の概要について

住田企画課長説明

- (2) 実施計画 (H 1 8 ~ H 2 0) について

住田企画課長説明

- (3) 意見具申 8 項目の状況について (H18 の計画)

住田企画課長説明

学校図書館の司書の配備 週 1 回を週 2 回に拡充

市道瀬ノ上・津木線 水産庁協議

H19 ~ 2 1 : 実施設計、工事

福川駅前周辺整備 駐輪場の整備 (2 5 0 台分、6 7 0 万円)

公園整備 (永源山公園南口エントランス)

H 1 8 ~ 用地取得、園路整備

(長田海浜公園)

施設が 2 月の強風で破損、復旧対応を検討中

中村地区の下水道整備 H 1 8 現地協議、H 1 9 ~ 事業開始

児童館は、指定管理者制度で市社会福祉協議会を指定している。

旧新南陽市役所は本庁の分庁舎利用として、平成 1 7 年度から 2 階から 4 階までを下水道部と建設部が利用している。

遊休資産の対象としては、米光企業団地と長田団地の分譲地が大きく、米光企業団地は、打診はあるものの、決定にまで至っていない。

質疑

(委員) 富田東小は平成 1 9 年に増築の計画があったが、今回計上されていないが・・

(企画課長) 合併により、公共施設の利用、校区の見直し、学校再編計画も見直されている。

(委員) 学び交流プラザは平成 1 8 年以降の用地取得になっているが、何時ごろ動きがあるのか。

(企画課長) 平成 1 9 年度で学び交流プラザの内容を決めることになっている。

(委員) 旧新南陽地域の住民は、市長ともどもやってきたという雰囲気があったが、それが薄れてきているように感じている。不満があるのではないか。住民が自由に発言できる場を地域に設けては・・・。そして、離島航路とは何処のことか。

(企画課長) 経費を削減しながらも、島民の利便性を確保したい。そのために

は3船体制を2船体制にし、高速艇で対応したい。

住民の声については、市民参画検討委員会で検討している市民参画条例、パブリックコメント

遊休地の処分については、長田団地と米光企業団地がある。米光企業団地は引き合いはあるが、決定に至っていない。皆さんからの情報もいただきたい。

(委員) 敬老祝い金が削減されている。他の市町の状況は。

(企画課長) 88歳、99歳、100歳の節目に1万円を支給することとしている。徳山市は、合併前から敬老祝い金は廃止し、節目支給にしている。

(委員) 健康教室は、以前週1回開催されていたが、それから月1回になって、現在は0になっている。介護予防の面からも大切なことと考えるが。

(委員) 永源山公園の南エントランス、上から下ると途中まで道がいいが、急に分からないような道になる。表示があれば、不案内な人も助かるが。また、南エントランスはいつごろ完成するのか。JRの利用者は新南陽高校のほうを回る人もいる。

(総合政策部長) 公社の土地をH18から5年間で買い戻して整備することになっている。行き止まり表示は、必要であれば原課に伝えたい。地権者の話はすでにしているのでH18・19で立ち退き等を含め、整備を考えたい。

(委員) 辰尾公園は、永源山公園の整備を優先して進めるとあるが、整備は考えられないと受け止めるが。

(総合政策部長) 公社で用地の先行取得を進めているが、具体的な事務は進んでいない。周南市での大きな公園整備は、永源山公園、周南緑地、高水の近隣公園がある。これらの公園の進捗を考えながら、辰尾公園の整備も考えていかなければならないと考えている。

(委員) 元気なお年寄りが頑張っているところへの配食の質が落ちているのでは。もう少し温かい目で見守っていただきたい。

(総合政策部長) 市の職員による周南出前トークという制度もあるので、これにより市の施策のPRを聞いていただくとともに、意見等も挙げていただきたい。

(委員) ふれあいセンターの利用が頻繁にある。使用料が安くて、駐車場があるところとなれば、ふれあいセンターの人気がある。しかし、駐車場がなくて来ても帰る人がいる。イベントのとき小学校を臨時駐車場として準備はするが、なかなか不便である。福川駅のあたりに整備してほしい。難しいこととは思いますが、検討いただきたい。

(総合政策部長) 使用料が安い、駅の近くで便利がいい施設ということで利用が多い。スペースはJRの用地しかないので、不便をかけるが、現状の利用でご理解をいただきたい。

(委員) 合併の最大の課題は行政改革。この会議においても何度も出された項

目。数値化して公表とは謳われるものの、今日の会議においても皆無。行政改革が一番困難なことであるが、あえて実行していただきたい。行政改革といいながら、競艇場と給食センターの関係もある。新南陽にも施設があるのに、時代に逆行するような考え方をしている。是非、市民の目線による情報開示による行政改革をやっていただきたい。

(総合政策部長) 3月に集中改革プラン、当初の行政改革大綱の実施計画に付け加えたもの、それに公営企業の経営健全計画を盛り込んだものを集中改革プランとして、広報の中でも公表している。いろんな情報は市民と共有していきたいというのが基本姿勢にはある。国の指導もあるが、市としても経営健全化計画を策定し公表している。ペースは遅いとか、数値目標がないと言われてはいるけれども、スピードを上げて、数値目標も掲げてやっていきたいと考えている。

(会長) 予算関係はこれくらいにして、みなさんから前回いただいている審議したいテーマについて審議していきたい。

(事務局) 委員全員が一堂に会して勉強することは無理があらうかと思われるので、委員を2つの班に分けて、分科会として進めていただきたい。2つの班の構成委員の案を示したい。

(会長) 欠席するときの連絡はきちっとするよう、委員をお願いして欲しい。本日の審議会はこれで終了する。

よって、次回からA班、B班に別れ、A班の班長を山本委員、B班の班長を浅海委員として分科会をすすめることとした。

7 閉 会 11時55分

上記は、審議会の経過の要点を記載したものに相違ない。

平成18年 月 日

新南陽地区地域審議会 会長